学園長メッセージ

　新しい年が始まり、子どもたちは寒さに負けず、園庭でこま回し、羽つきなどのお正月あそびを元気に行っております。

　幼稚園時代にしか経験できないあそびをいっぱいしてほしいと思っています。そして私が今年、子どもたちに育ってほしいことは、

① 知ることの喜び、おもしろさを身に付ける。
② 没頭（熱中）すること。
③ 我慢すること。　　です。

①の知ることは系統的早期知的教育ではなく、子どもの心に「なぜ？」「ふしぎ！！」「おもしろい！！」と思えるようになってほしいと思っています。

②は、いわゆる熱中活動です。興味、関心のあることに対して、熱中する集中力を付けてほしいと思います。

③は、幼稚園の活動では「快」ということを大切に考えておりますが、全て「快」というわけにはいきません。友だちと思いがぶつかったり、思うようにいかないことも多々あるものです。そのような実体験で、社会性を育んでほしいと思うのです。

　今は、豊かな社会で「我慢する」「辛抱する」という経験の機会が少なくなってきました。「不足」「不便」を通して、それを乗り越える力を付けてほしいものです。それが本園の教育目標「たくましく生きていく力を育む」ことになると思うのです。

　ルソーは著書「エミール」にこのように記しています。「子どもを不幸にする確実な方法は、いつでも何でも手に入れられるようにしてやることだ」と。